

■第 32 回組織細胞化学講習会—組織細胞化学の基本から先端技術まで

会 期：2007 年 8 月 7 日（火）～9 日（木）

（9 日は技術講習会【Wet Lab】）

会 場：講習会：京都芸術劇場 春秋座（京都造形芸術大学内）

（〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116）

技術講習会：京都府立医科大学 基礎医学学舎・実習棟

（〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465）

実行委員長：河田 光博（京都府立医科大学大学院医学研究科解剖学・生体構造科学部門）

テーマ：「組織細胞化学の基本から先端技術まで」

問い合わせ先：第 32 回組織細胞化学講習会実行委員会事務局

京都府立医科大学大学院医学研究科解剖学・生体構造科学部門

（〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465）

Tel：075-251-5301 Fax：075-251-5306

URL：http://www2.kpu-m.ac.jp/~anat1/soshikikagaku.html

E-mail（問い合わせ）：info_32kjshe@nacos.com

E-mail（パンフレット請求）：panf_32kjshe@nacos.com

■第 7 回日本 VR 医学会学術集会

テーマ：VR 医学の Haptics への展開

会 長：森川康英（慶應義塾大学小児外科教授）

会 期：2007 年 9 月 1 日（土）

会 場：慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

（〒108-8345 東京都港区三田 2-15-44）

Tel：03-3453-4511

演題申込締め切り：2007 年 7 月 31 日

問合先：慶應義塾大学小児外科 事務担当：瀧本康史

（〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35）

Tel：03-5363-3802（内線 63956） Fax：03-3355-4707

E-mail：yfuchimo@sc.itc.keio.ac.jp

■NPO SEES 講習会

内視鏡手術の基本操作と認定制度ガイドラインに準じた実践的技術習得のため、動物を用いたトレーニングシステムを提供する国内では初めての「特定非営利活動法人 内視鏡手術普及・啓発の会」です。

NPO SEES の特徴

1. 基礎から先端技術までの内視鏡手術の講習
2. ミニブタを用いた実践的技術習得（認定制度に準ずる）トレーニング
3. 幅広い内視鏡手術分野：消化器（胃、大腸、肝胆膵）・胸部・泌尿器・婦人科・整形外科を提供
4. 受講証明書を発行（日本内視鏡外科学会認定制度申請：3点）
5. 定期的な市民公開講座を開催
6. ホームページからの受講登録
7. ホームページでの内視鏡手術に関する情報提供

2006 年度からの変更点

- ・ミニブタによる実践的トレーニングの時間をこれまでより2時間延長いたしました。
- ・実技の評価システムを取り入れ、各受講者へお知らせすることにしました。
- ・ここでしか出来ないトレーニングを十分にさせていただくこと、認定制度に即応した技術習得を原則といたしました。
- ・ドライラボやシュミレータートレーニングは各施設でしていただき、本講習会では基本操作の習得、臨床応用に向けた技術習得、認定制度受験準備、並びに腕試しで参加していただければ幸いです。

会 期：原則第4土曜日 9:00～17:00

会 場：鹿児島大学医学部内

フロンティアサイエンス研究推進センター・動物実験施設内

定 員：12名

参加費用：50,000 円（宿泊料金・交通費は含まれておりません）

ミニブタを用いた実技講習会日程

NPO SEES 講習会・年間スケジュール（2007～2008 年度）

日程	講習会名	臓器名	指導講師
2007 年 9 月 1 日	第 28 回	大腸	福長 洋介（大阪市立総合医療センター消化器外科）
2007 年 9 月 22 日	第 29 回	胃	福永 哲（癌研究会付属有明病院）
NPO SEES 活動拠点である動物実験施設の改修工事のため、 2007 年 10 月～2008 年 1 月まで講習会は休止です。			
2008 年 2 月頃予定	第 30 回	大腸	未定
2008 年未定	第 31 回	大腸	未定
2008 年 5 月 31 日	第 32 回	胃	未定
2008 年 6 月 28 日	第 33 回	整形外科	未定

詳細はホームページ（URL：<http://www.nposees.com>）をご覧ください。

組 織

理事長：愛甲 孝 副理事長：永田行博 顧問：山川達郎 理事：高尾尊身・吉田浩己・坂田隆造・中川昌之・上村裕一・小宮節郎・堂地 勉・上村亮三・織島潤一・藤村信行・生駒 明 監事：小原 徹・山下勝彦

事務局

鹿児島大学医学部・フロンティアサイエンス研究推進センター・先端医療開発分野 高尾尊身
Tel：099-275-6357 Fax：099-275-6358 URL：<http://www.nposees.com>

■第1回 神奈川腹腔鏡下胃切除術研究会

胃癌に対する腹腔鏡補助下胃切除術の基本的な知識，および技術習得，さらには標準的手技の技術習得を目的として研究会と講習会を定期的に開催いたします。

会 期：2007年9月7日（金）19:00～21:00

会 場：ホテルキャメロットジャパン（横浜駅西口 徒歩5分）

（〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-11-3）

Tel：045-312-2111 Fax：045-312-2143

主 題：LADGの基本手技と技術認定取得までの道のり

講 師：福永 哲（癌研有明病院外科）

松井英男（東海大学東京病院外科）

代表世話人：公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

消化器病センター外科 國崎 主税

事務局：神奈川腹腔鏡下胃切除術研究会

（〒232-0024 横浜市南区浦舟町5-47）

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科内）

國崎 主税

Tel：045-261-5656 Fax：045-261-9492

E-mail：s0714@med.yokohama-cu.ac.jp

■第28回日本レーザー医学会総会

会 期：2007年9月14日（金）～15日（土）

会 場：旭川市民文化会館

（北海道旭川市7条通9丁目）

会 長：葛西真一（旭川医科大学外科学講座消化器病態外科学分野・教授）

テーマ：光の先端医療への挑戦

プログラム：特別講演（指定），招請公演（指定），教育講演（指定），シンポジウム（公募），一般演題（公募）など

参加登録：事前登録および当日登録

事務局：旭川医科大学外科学講座消化器病態外科学分野

第28回日本レーザー医学会総会事務局

（〒078-8510 旭川市緑が丘東2-1-1-1）

Tel：0166-68-2503 Fax：0166-68-2193

E-mail：jslsm28admin@convention.co.jp

URL：http://www2.convention.co.jp/jslsm28/

**■日本小児内視鏡外科・手術手技研究会
小児内視鏡外科技術講習会（第2回）**

会 期：2007年9月15日（土）13時30分～16日（日）16時30分

会 場：ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）エチコン研究センター（須賀川）

主 催：日本小児内視鏡外科・手術手技研究会（共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン（株），
後援：日本内視鏡外科学会）

対 象：小児内視鏡外科手術手技を学びたい方を対象とする

講義内容：小児内視鏡手術の基本手技，および，日本内視鏡外科学会・技術認定試験の採点のポイントの解説を含む，動物を用いた技術指導を行います．本講習修了者には，日本小児内視鏡外科・手術手技研究会の修了書を発行します．また，本講習会修了者は日本内視鏡外科学会後援講習会参加のポイントを修得できます．

参加費用：5万円（交通費・宿泊費は別）

申込方法：小児内視鏡外科技術講習会運営委員会事務局宛 E-mail で所属・氏名・連絡先・住所・
電話番号・E-mail アドレスをお送りください．

申込期間：2007年6月18日（月）から
（定員になり次第締め切りとします）

申込先：東京慈恵会医科大学内 小児内視鏡外科技術講習会運営委員会事務局
担当：吉澤穰治
Tel：03-3433-1111（内 3401） Fax：03-5472-4140
E-mail：jyoji@jikei.ac.jp

■第10回関東腹腔鏡下胃切除研究会 講習会

目 的：腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の基本操作から標準術式までの習得

当番世話人：松井 英男（東海大学医学部付属東京病院外科）

Special Guest：山川 達郎（帝京大学医学部付属溝口病院外科）

講 師：小嶋 一幸（東京医科歯科大学食道・胃外科）

桜本 信一（北里大学医学部外科学）

永井 祐吾（泉大津市立病院外科）

福永 哲（癌研究会有明病院消化器外科）

松井 英男（東海大学医学部付属東京病院外科）

五十音順

会 期：2007年9月29日（土）8:00～16:30

会 場：エチコン研究センター（Ethicon Endo-Surgery Institute）

（〒962-0056 福島県須賀川市大桑原字女夫坂1番地）

Tel：0248-63-2258 Fax：0248-63-2271

新幹線ご利用の場合：「郡山」駅下車，車40分

飛行機ご利用の場合：福島空港から車30分

後 援：関東腹腔鏡下胃切除研究会，日本内視鏡外科学会

主 催：ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) エチコン エンド サージェリー ジャパン

定 員：30名

対 象：腹腔鏡補助下幽門側胃切除術を行おうと考えている，あるいはさらに発展させたいと思っている外科医．なお，関東腹腔鏡下胃切除研究会の施設会員，個人会員を優先させていただきます．

参加費：1人55,000円（テキスト代を含む．宿泊費・交通費は含まれておりません）

宿泊先として，郡山市内のホテルを予定しております（1万円程度）．

支払方法：参加申込時にご請求書をお渡しいたします．

申込方法：参加申込書をご記入のうえ，下記申込先までFaxまたはE-mailにてお申し込みください（参加申込書が必要な方は下記申込先まで電話またはFaxにてご請求下さい）．

申込先：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

エチコン エンドサージェリー ジャパン

プロフェッショナル・エデュケーション 担当：松本敦資

Tel：03-4411-7696 Fax：03-4411-7741

関東腹腔鏡下胃切除研究会施設会員，個人会員の申込に関しては下記ホームページをご覧ください．

関東腹腔鏡下胃切除研究会 URL：<http://www.kanto-lag.com/>

事務局：関東腹腔鏡下胃切除研究会

（〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学大学院 腫瘍外科学分野）

事務局幹事：小嶋一幸

Tel：03-5803-5259 Fax：03-5803-0139

E-mail：k-kojima.srg2@tmd.ac.jp

■第2回全国労災病院内視鏡外科セミナー

テーマ：腹腔鏡下胃切除術・腹腔鏡下大腸切除術

目的：腹腔鏡下胃切除術ならびに腹腔鏡下大腸切除術のリンパ節郭清術，腹腔鏡下手術の各手技の習得を目的とした講義と実習。また，ビデオ・クリニックも開催いたします。受講者の手術ビデオ（胃癌，大腸癌，胆石）を講師と1対1で見ながら，問題点を探り手技的向上を図ろうとするものです。

Course Coordinator：徳村 弘実（東北労災病院）

Instructor：岡島 正純（広島大学）

：北川 雄光（慶應義塾大学）

：國場 幸均（京都府立医科大学）

：能城 浩和（九州厚生年金病院） 五十音順

主催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

エチコンエンドサージェリージャパン

後援：日本内視鏡外科学会

会期：2007年10月6日（土）

会場：エチコン研究センター

（福島県須賀川市大字大桑原字女夫坂1番地）

Tel：0248-63-2258 Fax：0248-63-2271

飛行機ご利用の場合：福島空港より車で30分

新幹線ご利用の場合：郡山駅下車，車で40分

募集人員：30名（2～3名1組にてご応募ください。）

定員になり次第，締め切らせていただきます。

参加費用：50,000円（宿泊料金と交通費は含まれておりません。）

必要に応じ前日宿泊先として会場付近のホテルを用意します（1万円程度）。

支払方法：予約確認後，別途ご案内いたします。

申込方法：申込用紙にご記入のうえ，申込先までFaxにてお申し込みください。

（申込用紙が必要な方は，以下までご連絡ください。）

申込先：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

エチコンエンドサージェリージャパン

プロフェッショナル・エデュケーション

（担当）松本 敦資

Tel：03-4411-7696 Fax：03-4411-7741

■九州大学病院 内視鏡外科手術トレーニングセミナー

九州大学病院内視鏡外科手術トレーニングセンターでは下記の要領にてトレーニングセミナーを開催いたします。

●スタンダードコース

会 期：(第 33 回) 2007 年 10 月 26 日 (金) ～27 日 (土)

(第 34 回) 2007 年 11 月 16 日 (金) ～17 日 (土)

(第 35 回) 2007 年 12 月 14 日 (金) ～15 日 (土)

※各セミナーはそれぞれ日本内視鏡外科学会技術認定制度後援実技セミナー 3 点が取得できます。

目 的：内視鏡外科手術の鉗子操作、縫合技術などの修得

対 象：初心者、内視鏡外科手術の経験はあるがレベルアップを希望する外科医

内 容：基本手技訓練（鉗子操作、剥離、縫合、結紮、止血、最新機器の操作）

- ・ボックストレーナーによる訓練・VR シミュレータによる訓練
- ・動物による、技術認定共通項目審査基準に沿った実践的訓練
- ・技術評価

会 場：九州大学病院内視鏡外科手術トレーニングセンター（九州大学病院内）

募集人員：医師 18 名（先着順）

参加費用：50,000 円（宿泊料金と交通費は含まれておりません。

受講料のお支払い方法は申込確認後、別途ご案内いたします。）

●アドバンスコースも随時開催しています（不定期）

受講申込方法：ホームページ（<http://www.mit.kyushu-u.ac.jp>）より申込書をダウンロードし、

ご記入後、FAX にてお送りください。

折り返し E-mail にてご連絡をいたします。

連絡先：九州大学病院内視鏡外科手術トレーニングセンター

先端医工学診療部内 担当：田上 和夫

Tel：092-642-6028（直通） Fax：092-642-6109

E-mail：training@med.kyushu-u.ac.jp

URL：http://www.mit.kyushu-u.ac.jp

■第12回関東腹腔鏡下胃切除研究会

今回は、メインテーマとしてこれまで取り上げてきたLADGの郭清手技に加えて、再建法を取り上げました。LADGの郭清手技が統一されていく方向にあるのに対し、再建法は施設によりさまざまです。デルタ吻合、Billroth I法(hemi-double)、Roux-en-Y再建の実際の手技を話題提供者に提示していただき、それぞれの手技の長所短所、技術上のポイントを討論していただきます。郭清手技はこれまで取り上げられてきましたが、LADGを施行するにあたってもっとも重要であり、かつ乗り越えなければならない技術上のポイントが多々あります。今回は、初級、中級、上級と3段階にわけ、話題提供者に実際の映像を提示していただき、技術獲得のポイントを討論していただきます。

再建に1時間、郭清に2時間を割り当て十分な討論をしていただきます。

皆様には奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：2007年10月27日(土曜日) 15:00~18:00

会場：東京大学 医学系研究科教育研究棟 14階 鉄門講堂

(〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1)

JR 御茶ノ水駅聖橋口から東大行きバスで5分、東大病院前下車徒歩1分

地下鉄丸の内線本郷3丁目駅下車徒歩7分

地下鉄千代田線湯島駅下車徒歩7分

Tel: 03-3815-5411 Ext: 35144 Fax: 03-5800-9734

URL：<http://www.jmca-npo.org/seminar/tokyounivigakubu.pdf>

参加費：2000円

主 題 「LADG－郭清から再建まで」

テーマ1 LADGの再建法

デルタ吻合, Billroth I法(hemi-double), Roux-en-Y再建

テーマ2 LADGの郭清手技

初級編 1, 3番の郭清

中級編 7, 8a, 9番の郭清

上級編 14vの郭清

当番世話人：東京大学医学部 胃・食道外科 山口浩和

(〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1)

Tel: 03-3815-5411 Ext: 35144 Fax: 03-5800-9734

■第5回内視鏡下肥満治療（胃内バルーン留置術）トレーニングコース

内視鏡下肥満外科治療研究会（旧 腹腔鏡下肥満外科フォーラム）主催で下記の要領にて内視鏡的胃内バルーン留置術のセミナーを開催いたします。

コースディレクター：北野 正剛（大分大学第一外科）

オーガナイザー：上西 紀夫（東京大学消化管外科）

会 期：2007年11月3日（土）10:00～16:00 昼食あり

会 場：東京大学医学部附属病院 入院棟 A 棟 15 階 大会議室

（〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1 Tel：03-3815-5411 内線 37723）

目 的：肥満治療全般の知識と内視鏡的胃内バルーン留置術の技術の習得

内 容：肥満症治療ガイドライン 2006 と肥満に対する内科的治療

内視鏡的胃内バルーン留置術（肥満症治療における位置づけ、ビデオを使ったテクニックの説明、留置後の患者のフォローアップ方法）

募集人員：50 名（先着順，定員になり次第締め切らせていただきます。）

参加資格：日本消化器内視鏡学会 専門医

参加費：50,000 円（宿泊料金，および交通費は含まれておりません。受講料のお支払い方法は申込確認後，別途ご案内いたします。）

参加申込方法：ホームページ（<http://www.med-oita-surgery 1.jp/himan/>）より申込書をダウンロードし，ご記入後，Fax にてお送りください。折り返し E-mail（メールのない場合は Fax）にて連絡いたします。

事務局：内視鏡下肥満外科治療研究会 幹事

大分大学第一外科 太田 正之

Tel：097-586-5843 Fax：097-549-6039

E-mail：jwelto@med.oita-u.ac.jp

URL：<http://www.med-oita-surgery 1.jp/himan/>

※現在，内視鏡的胃内バルーン留置術の BioEnterics® Intragastric Balloon（BIB®）System は薬事未承認のため，トレーニングコース修了者のみ，医師免許により個人輸入が可能となっています。なお 3 学会合同委員会（日本肥満学会，日本消化器内視鏡学会，日本内視鏡外科学会）の適応指針により，その適応は BMI $\geq$ 35 kg/m² の内科的治療無効の肥満症患者で，個々の適応については日本肥満学会認定肥満症専門病院の肥満症治療に従事する医師の意見を求めることとなっています。

■医療の質・安全学会第2回学術集会

会 期：2007年11月23日（金）～25日（日）

会 場：東京国際フォーラム（東京都千代田区）

会 長：上原鳴夫（東北大学大学院医学系研究科教授）

テーマ：「21世紀の医療と医療システムを求めて」

演題申込：演題募集期間 6月11日～8月1日

＊第2回学術集会ホームページからご登録ください。

参加申込：事前登録受付期間 7月10日～9月30日

参加費（事前登録）：会員 8,000円，一般 10,000円，学部学生 5,000円

＊参加費に抄録集（医療の質・安全学会誌増補号）は含まれません。

予定プログラム

- ・一般演題発表とワークショップ
- ・展示発表「質・安全の向上をめざすベストプラクティス—私たちの取組みと工夫」
- ・国際シンポジウム “People at the Center” 11月25日（日）
 - 共催：世界保健機関（WHO）
 - 国際ワークショップ “「人」が中心の医療へ”（同時通訳あり）
 - 医療安全推進週間—公開フォーラム “みんなで創ろう，私たちの医療”
- ・教育講演 赤津晴子氏（ピッツバーグ大学）他
- ・日本医療情報学会／医療の質・安全学会同時中継シンポジウム「医療安全と情報」
- ・企画展示「安全のための技術開発—安全に配慮した医療機器・用具・設備の紹介」
- ・医療安全管理者ネットワーク会議 11月23日（金・祝）17:30～19:00（予定）
- ・ミニコース「医療が安全であるために」 11月22日（木）17:15～20:30

第2回学術集会事務局：東北大学大学院医学系研究科国際保健学分野内

Tel：022-717-8196 Fax：022-717-8198

jsqsh2007secretary@qsh.jp

■「内視鏡医学研究振興財団」平成 19 年度海外派遣助成

助成対象：海外派遣助成

若手内視鏡医学研究医（原則として満 45 歳以下）を対象に海外で行われる学会などで、個人またはグループの研究成果を発表（ポスター発表を除く）する研究医に助成します。

【対象学会】ACS, SAGES, ELSA, EAES, WCES

応募要項の入手方法：ホームページよりダウンロードしてください。

問い合わせ先：☎151-0053 東京都渋谷区代々木 2 丁目 16 番 7 号 山葉ビル

財団法人 内視鏡医学研究振興財団 事務局

Tel & Fax : 03-3375-3531

E-mail : endo-jfe@endo-jfe.or.jp

■Event News 掲載をご希望される方へ

関連学会・研究会の会告掲載をお受けいたします。代表者名・日時・開催会場・事務局など、必要な掲載内容を A4 判紙 1 枚にまとめ、下記「日本内視鏡外科学会雑誌」編集室までお送り下さい。

なお掲載料金は掲載後、日本内視鏡外科学会事務局より請求させていただきます。

掲載料金：1/2 頁 10,000 円、1 頁 20,000 円

申込先：☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

(株)医学書院 医学雑誌部

「日本内視鏡外科学会雑誌」編集室

Tel : 03-3817-5707 Fax : 03-3815-7802 E-mail : jses@igaku-shoin.co.jp